

おだ
小田 幸子さん (1区)



美しい書の世界に魅せられ、これからも仲間と勉強を

「ふだんの生活に役立ちますし、いろんな人との付き合いが増えて楽しいですね」と明るい口調で話すのは、ペン習字サークル「若菜会」で活動する小田幸子さん。「きれいなペン字を習いたい」と平成3年に入会し、世話役として12年間の発展を支えました。

字の美しさを磨き、無心になれる書の世界に魅せられ、ペン習字(依囑)のほか、実用細字(小筆)や規定(大筆)、ボールペン字の段位を取得。平成26年には全道書道コンクール一般ペン字部で最高賞、翌27年には全国書道コンクール実用書道部で特別賞一席に選ばれました。

「今は亡き松田香洋先生の勧めでコンクールに出品しました。お褒めの言葉をいただくまで、大きな賞だという実感が湧きませんでした」

紅楓(こうふう)の雅号をいただいた故・松田先生をしのび、令和3年に開かれた遺作展の開催に向けて尽力。文化活動の発展に貢献したとして、本年度、妹背牛町文化連盟から功績者表彰を受けました。

「受賞は、多くの方々の力強い支えによるもの。感謝の気持ちでいっぱいです」今年11月の総合文化祭では、道内34市の地名を書いた作品を出品。「仲間との時間を大切に、これからも書の勉強を続けていきたいです」と、精力的に活動しています。

Vietnam Corner

.....ベトナム コーナー.....



皆さん、こんにちは！フオンです。今日は皆さんに私の茶道体験についてお話をしたいと思います。

11月4日、妹背牛町民会館で行われたお茶会に、地域おこし協力隊のモさんと一緒に参加しました。その日は天気良くて、暖かくてよかったです。私は日本の茶道に参加したことがなかったのでちょっと心配でした。でも、先生に詳しく教えてもらってお茶の楽しみ方がわかるようになりました。

お茶を飲むだけではなく、和室で過ごしたり、おわんの美しさに触れたり、和菓子を食べたり、飾ってあるお花を楽しむんだりしました。茶道の先生たちは着物を着る姿がすごく魅力的でした。

日本の伝統的な文化を体験することができて、うれしかったです。茶道に参加して、人と人が交わり、「一期一会」という言葉のような、私にとって貴重な体験ができました。